

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 島原地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】 月～金 午前9時から午後5時まで 休業時間・休業日の緊急時には担当者に連絡できる体制をとっている。 【事業実施地域】 下京区 郁文学区、淳風学区、光徳学区、七条第三学区
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①地域包括の役割・介護予防サービスについて周知活動を継続して実施している。 ②感染状況を確認しながら、地域ケア会議を開催し、共にネットワーク内で困難ケースを乗り切っていく関係構築が維持できるように努力した。 ③郁文・淳風・光徳・七条第三学区の地域福祉員との連携や、要援護高齢者の実態把握に努めている。 ④七条第三学区、郁文学区では、介護保険事業所や下京区社会福祉協議会と連携会議を行ったのちに地域ケア会議に出席し各学区での取り組みを行っている。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

センター長1名（主任介護支援専門員と兼務） 保健師1名 社会福祉士2名 介護支援専門員1名 合計6名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

第三者への委託は行っていない。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

2879 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

987 件

(3) 収支実績

ア 令和5年度収入状況（単位：円）

委託料	26,666,720
介護保険収入	14,255,976
その他	819,002
収入計	41,741,698

イ 令和5年度支出状況（単位：円）

人件費	29,388,967
事業費	372,823
委託費	4,387,950
小額修繕費	5,715
その他	62,931
支出計	34,218,386

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

健康教室 島原楽楽広場は、年6回を開催。開催終了後に参加者全員の満足度アンケートを実施しニーズの把握を行っている。

(2) 利用者満足度把握の結果

健康教室楽楽広場でアンケート実施結果。リフレッシュ度は100点満点が多い。その他の感想では、楽楽広場の定期開催を望む声と、もう少し時間を長くしてほしい（コロナ禍前のように）という内容があった。コロナ禍の影響で全体的に体力等の低下がみられ、参加者の顔ぶれも変化している。人と会う機会や介護予防の取り組みは必要と実感されている事がわかった。

(3) 意見等への主な対応状況

参加者同士が交流できる内容であること。フレイル予防等の役立つ知識をゲスト講師を招いて充実させた。

7 評価（指定管理者自己評価）

健康教室島原楽楽広場は、どなたでも参加できるをもっとうに開催している。コロナ禍の影響で体力の低下やご病気等で参加者の顔ぶれが変化した。R4年に続きR5年も七条第三小学校で認知症サポーター講座を実施、島原認知症カフェも再開させ認知症の方もそうでない方も老若男女その他でも参加いただけるよう配慮。カフェでは認知症高齢者がウエイレス役をしてくださった。七三学区・郁文学区では介護保険事業所を集めて、地域課題に向けた取り組みを継続している。七三学区では、学区の介護相談窓口の目印や名簿を作成し、R6年度に配布予定。郁文学区内で、4か所ほど居場所づくりが出来るようい取り組みを行い障害を理由とする差別解消に向けた取り組みを実践している。